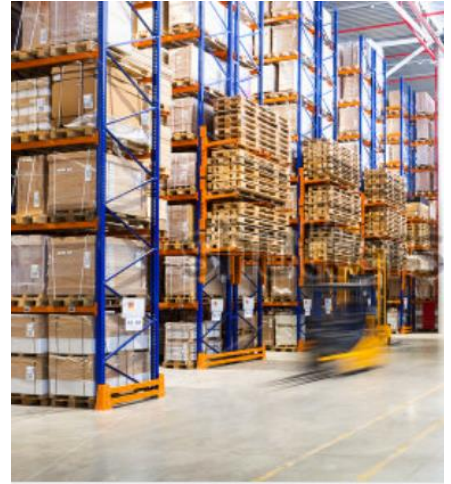


WMS(庫内管理システム)導入支援

時代が求めるWMS(Warehouse Management System : 庫内管理システム)

現在、物流現場においてWMSが持つ役割は、非常に大きなものになっています。近年は、より一層の業務効率化や省人化、作業精度向上を目指して、倉庫へのマテハン機器（マテリアルハンドリング）導入が注目されています。マテハン機はWMSと連携され、WMSから作業データを受信してその機能を発揮するため、WMSはマテハンの司令塔としての役割も担っています。

また、労働力不足が社会問題となる中で、ロジスティクスの現場では、庫内作業員の労務管理強化が求められています。そこで、今日は、倉庫内のどこで、誰が、いつ、どの作業を行っているかを可視化し、作業量に応じた適正な人員配置をサポートするWMS機能の導入も増えてきています。



WMS導入で実現されること

各倉庫の業務要件に適したWMSを導入し、WMS機能を活用した業務の設計を行うことで、倉庫物流コストやサービス品質の管理を強化することができます。



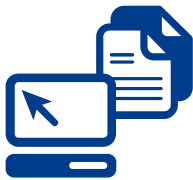
熟練作業者のノウハウや
属人的作業をシステム化

柔軟な人員配置
サービス品質管理強化



業務の可視化

作業計画性向上
在庫適正化



情報の蓄積

データ分析による
改善アクションの策定



業務効率化

生産性向上
スペース活用効率向上
トータルコスト適正化



レイバーマネジメント

人材の有効活用
離職防止

コスト管理・品質管理の強化

アプローチ

QUNIEは、お客様の業務特性を考慮し、それぞれのお客様に適したWMSの導入支援を行います。また、これまで支援した数多くのWMS導入プロジェクトで培ったアプローチ方法を用いて、迅速な導入をご支援いたします。

| | | プロジェクト管理 | | | |
|-------|------|--|---|--|--|
| | | 展開計画立案 | 要件定義 | 構築 | 展開 |
| アプローチ | タスク | <ul style="list-style-type: none"> プロジェクト定義化 <ul style="list-style-type: none"> 目的の設定 展開スコープ設定 メンバーサインと Role and Responsibilityの設定 展開スケジュール作成 プロジェクトキックオフ | <ul style="list-style-type: none"> 要件定義 <ul style="list-style-type: none"> 業務要件定義 Fit & Gap システム要件定義 アーキテクチャの検討 保守体制検討 | <ul style="list-style-type: none"> システム設計・構築 インフラの設計・環境準備 移行計画立案 マニュアル作成 システムテスト UAT | <ul style="list-style-type: none"> 標準業務・システムトレーニング トライアル実施 稼働判定 アフターフォロー |
| | 作成資料 | <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトプラン WBS | <ul style="list-style-type: none"> 業務フロー WMS機能一覧 保守体制図 | <ul style="list-style-type: none"> システム設計書 移行計画 ユーザーマニュアル テスト実施報告書 | <ul style="list-style-type: none"> トレーニング計画 稼働判定結果報告書 |

Why QUNIE ?

QUNIEのコンサルタントは、豊富な業務経験とコンサルティング経験をもつ者だけで構成されています。QUNIEは、経験と知識、コンサルティング技法を駆使して価値の提供に努めます。

| | |
|----------------|---|
| 業務を熟知したコンサルタント | QUNIEは、コンサルティング会社でのプロジェクト経験や、事業会社での業務経験を有したコンサルタントで構成されています。物流業務の高い専門性とコンサルティングスキル、情熱を持ったコンサルタントが、貴社と一体となって改革をご支援いたします。 |
| 豊富なプロジェクト実績 | 製造業や小売業、卸売業、物流業など、さまざまな業界の事業者様へロジスティクス改革のご支援を行った実績がございます。また、日本国内のプロジェクトだけでなく、グローバルプロジェクトの経験も豊富であり、お客様の海外展開を幅広くご支援いたします。 |
| WMS導入をトータルで支援 | QUNIEは、計画立案から要件定義、導入、アフターフォローまで、トータルでWMSの導入をご支援いたします。また、お客様とOne Teamを組織し、一体となって一体となって新規オペレーションが定着することを絶えず志向して、サービスの提供に努めます。 |